

塗装仕様書 < 塗替え >
鉛クロムフリーさび止め/長油性フタル酸仕様
管理番号 N0007

- ☐ 適用部位 配管・架台、タンク外面、プラント機器類、建築鉄骨、鋼構造物全般
☐ 特徴 鉛クロムフリー、グリーン購入法、油性・フタル酸

工 程	塗 料 名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希 釈 剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法	膜厚/回
素 地 調 整	電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。活膜部の表面を清掃ケレンする。						
補 修 塗 装	速乾PZヘルゴンエコ (鉛・クロムフリーさび止めペイント)	(0.14)	16時間以上 1ヶ月以内	塗料用シンナーA	(0~5)	はけ、ローラー	(35mm)
		(0.17)			(0~10)	エアレス スプレー	
下 塗 り	速乾PZヘルゴンエコ (鉛・クロムフリーさび止めペイント)	0.14	16時間以上 1ヶ月以内	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ローラー	35mm
		0.17			0~10	エアレス スプレー	
中 塗 り	CRペイント中塗エコ (合成樹脂調合ペイント中塗り塗料)	0.12	24時間以上	塗料用シンナーA	0~10	はけ、ローラー	30μm
		0.15				エアレス スプレー	
上 塗 り	CRペイント上塗エコ (合成樹脂調合ペイント上塗り塗料)	0.11	24時間以上	塗料用シンナーA	0~10	はけ、ローラー	25μm
		0.14				エアレス スプレー	

- ・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

□ 施工上の要点・注意事項

- ・旧塗膜が正常な個所はサンドペーパー、ワイヤーブラシ、ダスターはけ等で旧塗膜に発生しているチョーキング及び油脂、塩類、その他の付着物を除去清掃してください。
- ・劣化した塗膜上への塗装は、早期はく離・早期発錆の原因になりますので素地調整を充分行なってください。
- ・5℃以下の気温が連続する場合、及び湿度85%以上の場合は施工しないでください。
- ・冬期または低温時には、塗料の乾燥不良に起因する、流れ・だれ・縮み等の問題が起こることがあります。塗装インターバルを十分とって、被塗面の乾燥を確かめてから塗り重ねてください。
- ・油性、フタル酸塗料は過膜厚になると極端に乾燥性が遅延し、その他の塗膜欠陥を生じる事がありますので、規定の使用量を守り、膜厚管理には留意ください。
- ・補修塗装は原則としてはけ塗りとし、素地の露出した部分及び膜厚不足になりやすい部分に素地調整後すみやかに塗装してください。
- ・使用塗料の詳細説明は各々の製品使用説明書を参照ください。
- ・製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。

【補修塗装(速乾PEヘルゴンエコ)】

- ・低温時や高湿度環境下で塗装したり、屋内など空気の流通の少ない所で乾燥させると、その上にエアレスで塗り重ねたとき、はじきやはく離を生じることがあります。

【中塗り(CRペイント中塗エコ)】

【上塗り(CRペイント上塗エコ)】

【仕様全般】

- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起こしますので、適正な膜厚で塗装してください。
- ・水に常時接触する個所、あるいは水没する所には適用を避けてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。

- ・塗料が付着した可燃物（ウエス、ダンボール等）や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火の恐れがあります。速やかに廃却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。
- ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。